

新小学校開校に伴う通学に関する説明会（令和8年2月13日、20日）
教育委員会からの説明及び説明会で出された質問への回答

スクールバスの運行について説明（教育総務課）

■令和7年10月10日開催の説明会における説明内容の振り返り

- ・10人乗りのミニバン車両3台を用いて2巡運行による送迎を想定。
- ・送迎の対象は、片道1.8km以上の通学距離の児童
- ・運行ルートは、第2号市営住宅在住の児童を主な対象とする東ルート、県道木津横田線西側の東之阪町、般若寺町在住の児童を主な対象とする西ルート、東大寺付近や第2号市営住宅より東側の川上町や飯守町付近在住の児童を対象とする第3ルートの計3ルートを想定。
- ・その他、バンビー便を運行することや、令和9年度に向けてのスケジュール感について説明していた。

■登下校時の送迎について

- ・29人乗りのマイクロバス車両を用いて2ルートを1巡運行する形に計画を変更。
- ・送迎の対象は、片道1.8km以上の通学距離の児童。
(原則2kmが基準であるが、同じ団地で対象が分かれるようなことが無いよう幅を持たせ、1.8km以上としている。)

■ダイヤについて（登校時）

(東ルート)

- 【対象】飯守町付近、県道木津横田線（第754号線）
- 【乗降場所】飯守町バス停、市営住宅集会所前
- 【出発／到着時刻】飯守町バス停：7時40分発 市営住宅集会所前：7時45分着／7時50分発 新小学校：8時10分着
- 【ルート】飯守町バス停を出発後、コンビニ手前を左折し市営住宅集会所前へ、集会所の駐車スペースで児童が乗車した後、集会所南側道路から県道木津横田線に合流し、北上の後、奈良街道との合流地点のもう一つ北側の交差点で左折。西側に向かいながら、ロードアリーナのある県道奈良加茂線を経由し、県道奈良加茂線のもう一本東側の市道北部第7号線を南下。消防署の前を通過して一条通りに合流し新小学校に到着する。

(西ルート)

- 【対象】雑司町、水門町や、県道木津横田線よりも西側、東之阪町や般若寺町に住む児童、
- 【乗降場所】鼓阪小学校、東之阪児童館前
- 【出発／到着時刻】鼓阪小学校：7時40分発 東之阪児童館：7時46分着／7時50分発 新小学校：8時10分着
- 【ルート】焼門の交差点から県道に合流し、今在家の交差点から奈良街道を北上し東之阪児童館に向かう。児童館で児童が乗車した後、東に向かい県道木津横田線に合流し、以降は東ルートと同じルートを通る。

■ダイヤについて（下校時）

- ・基本的に登校時と同様のルートと乗降場所で運行予定。
- ・下校時間帯ごとに、学校から乗降場所に帰ってくることを想定。（低学年用、高学年用の2便2ルート運行予定）
- ・バンビーホームを利用し、17時までに下校する児童を対象に、バンビー下校便を運行予定。16時50分頃に新小学校を出発し、17時10分頃に鼓阪小学校に到着予定。ただし、対象となる児童の乗降場所に応じてルートや運行時間を調整する予定。

■運行状況の見える化

- ・渋滞による運行の遅延状況や児童の乗車状況の情報共有についてご心配の声をいただいていたことから、GPSを活用したアプリ（スマホと専用アプリを連携）を導入し、保護者が情報を確認できるようにし、利便性を高めたいと考えている。

■スクールバス運行までのスケジュール案について

- ・令和8年度は、車両の入札等の準備を進めながら、令和9年度の新入学生の入学前検診の時期（10月頃）に、対象となる児童にスクールバスの利用の希望調査を実施し、2月中までに運行開始の準備を整えるとともに、乗車児童の確定や乗車時のルールの策定などを行い、3月中のテスト運行を経て、再度調整のうえ4月からの運行開始に向け進めていく。

◇質問と回答

統合再編・新小学校について	回答
統合再編が中止になれば、新校舎の建設工事も止まるのか。また、国からの補助が無くなり市の負担が増えるのか。	統合再編の中止により現在行われている建設工事が止まることはない。国からの補助に関しては、統合再編を前提として国に申請しているため、統合再編が中止になれば市の負担は増える。
統合再編が中止になった場合、佐保小学校の児童は新校舎を使えるのか。	統合再編の有無に関わらず、新校舎の使用は可能である。
統合再編を中止し、市の負担が増えた場合は他でやり繰りすればよいのではないのか。	市の他の事業で予算を削ることを考える必要が出てくるのが想定される。
最終いつまで工事は続くのか。	令和10年度内には完了予定である。
工事車両は児童の登下校時は出入りするのか。また、工事車両が出入りすることによる埃でアレルギーが酷くなるようなことは起こっていないか。	工事車両は登下校時には通行しない。また、現在佐保小学校の児童でアレルギーが酷くなるような事例は聞いていない。
鼓阪小学校の児童は校名アンケートにほとんど答えていないのではないのか。	鼓阪小学校の児童にも回答いただいている。
新しい学校の校時やスケジュールは決まっているのか。鼓阪小学校の取組も継承してほしい。	両校の教員で、校時や行事など新しい学校のことについて検討中である。その中で鼓阪、佐保両校の良いところを引き継ぎながら、新しい学校のあり方を検討していく。
大雨などの緊急下校時に教員の見守りはあるのか。	学校の運用によるため、今後検討していく。児童の安全を第一に考え対策していきたい。
今後、説明会を開く予定はあるのか。	新しい学校でどんな教育をするのかなど、開校に向けた説明会を予定している。

通学路について	回答
以前、通学路の見守りについて地域の方と話をする機会があったが、PTAなどの組織でないと具体的な話は進まないとのことであった。学校として地域と保護者が話をする場を設定してもらえないか。	通学路の見守りについて鼓阪地区では組織的に動けていない部分である。この機会に学校として、地域や保護者に働きかけ、登下校の見守りが活性化されるよう検討していきたい。

運行について	回答
家から佐保小学校まで1.5kmくらいだが、スクールバスに乗ることは出来ないか。1, 2年生だけでも乗車することは出来ないか。	現在の試算では、スクールバスの定員に空きがなく、通学距離が1.8km未満の児童の乗車は難しい。バスの利用調査の時期を早めるなど工夫し、乗車人数を確定したうえで、対象児童について検討していきたい。
今回のルート変更により、以前と駐車場所が変わっているのではないか。前回三笠霊苑付近に停車予定であったが、そこで乗車する予定であった児童はどうするのか。	今回マイクロバスでの運行に変更したことにより、マイクロバスが通行可能な道幅を考慮し、走行ルートや駐車場所を変更した。前回三笠霊苑で乗車する予定であった児童は今回市営住宅の集会所で乗車してもらう想定である。
飯守町のバス停での停車は、どちらの方面を向いて停車するのか。	登校・下校時ともに、奈良方面を向いての停車を想定している。
乗降場所が東大寺付近から鼓阪小学校に変更になっている。奈良交通のバスは若草山の麓まで来ているので、乗降場所を再度検討してもらえないか。	ご提案いただいた場所を試走し、児童が安全に乗降できるかを検討していきたい。
スマホでバスの乗り降りが確認できるとのことであるが、バスを待っている間見守りはあるのか。有償でボランティアに依頼している事例はあるか。	有償で実施している事例はない。他の地域では、保護者や地域の方で見守りしていただいている。
スクールバスに乗り遅れた場合は対応してしてもらえるのか。	アプリで運行状況を確認できるようにする予定であり、バスの運行状況を確認し余裕をもってバス停に送り出すよう協力していただきたい。乗り遅れた場合はご家庭で対応いただくことになる。
運転手は市で雇うのか、また、安全管理はどのように担保するのか。	市の職員を複数人確保し、シフト制で運行する予定である。運転手には、事前に研修を実施するなど、安全管理に努める。
29人乗りのマイクロバスに変更になった理由がわからない。実際にバスを利用する人の意見を踏まえて運行方針を決めているのか疑問に思う。	前回(10月10日)の説明会の際に「2巡運行では遅い方の便にどうしても希望が偏ってしまうのではないか」「1巡目が交通事情等により遅れた場合に、2巡目にも影響が及ぶのではないか」等のご意見をいただいたことから、出発・到着時間も考えながら何度も実走を重ね、総合的に検討した上で29人乗りのバスをご提案している。
マイクロバスではなく、以前の案にあったミニバンタイプのスクールバスを増やし、便数を増やした運行とすることはできないのか。	運転手の確保の観点から、以前提案させていただいたミニバンタイプのスクールバス3台以上で運行することは出来ない。3台のまま便数を増やすと第1便の時間が早くなり、学校が設定する登校時間外になることが予想されることから、増便についても難しい。

保護者からの意見
通学路の危険個所の共有や、お互いの状況を知るために鼓阪・佐保両校のPTAが連携し、保護者に情報共有する必要がある。
保護者が自発的に動くことができればいいが、今の鼓阪地域では、スクールバスなどの個々の目的に対して皆で話し合う体制がとれない。市から保護者が話し合うべきことを、佐保や他の地域の事例を紹介しながら指示してほしい。
今、両校の教員間でどのような検討がされているのかなどの情報が無く不安である。